株式会社滋賀ユナイテッド

代表取締役　鈴木　信哉氏

地域貢献と青少年育成、選手のサポートを目指し プロ野球球団とサッカーチームを同時に設立

第二の故郷滋賀にスポーツで恩返しを

滋賀県初のプロ野球チームとして平成28年に誕生した「滋賀ユナイテッドベースボールクラブ」と、将来のJリーグ入りを目指して活動する「滋賀ユナイテッドフットボールクラブ」を擁する株式会社滋賀ユナイテッド。

社長の鈴木信哉氏は東京都出身で、小学校3年生から野球を始めて、NPB(日本野球機構)のチームに入ることを目標に、野球一筋の生活を送っていました。高校卒業後に肩を痛めて一度は目標を諦めかけますが、アルバイトを掛け持ちしてお金を貯め、肩の手術を受けた後、アスリートや指導者を育成する甲賀市の専門学校へ入学。卒業後は京都の社会人野球チームに入団して、投手として11年プレーし、2年間マネージャーを務めた後、第二の故郷である滋賀にスポーツで恩返しがしたいと、平成27年にサラリーマンを辞めて会社を立ち上げました。

スポーツ選手の入口と出口をしっかりサポート

滋賀ユナイテッドベースボールクラブが所属するのは、10の県民球団からなる独立リーグのルートインBCリーグ。ベースボールクラブとして、NPB球団に1人でも多くの選手を輩出すること、そして地域に愛されるチームとなることを目標に掲げています。

さらに、鈴木氏は事業目的の一つとして、スポーツ選手の入口と出口をしっかりサポートしたいという考えを抱いてきました。入口の部分では、スポーツを通じて礼儀や忍耐力を身につけ、人間力を養うという人間形成に重きを置き、小・中学生を対象にした野球教室やサッカー教室の開催、滋賀県下の中学生を対象とした中学軟式野球クラブチーム「滋賀ユナイテッド JBoy's」、「滋賀ユナイテッドフットボールクラブU-15」を運営するほか、グラブの手作り教室や食育教室などを開催しています。グラブの手作り教室は、手縫いで自分のグラブを作るとい

う体験を通して、子どもたちに普段使っている道具を大切にする心を学んでもらうという狙いがあります。

また、新たな戦力を発掘するトライアウトでは、ずっと野球やサッカーをやっていたのに、いろいろな事情で辞めてしまった若者たちに、もう一度スポーツにチャレンジするチャンスを与えることもできるのではないかと鈴木氏は考えています。

選手の引退後に備えセカンドキャリアに貢献

一方出口については、「社会人チームでは結果を出せない選手が毎年解雇され、引退後の厳しい現状も見てきたので、こういう人たちをサポートすることができないかと考えていた」と言う鈴木氏。そういった選手たちのセカンドキャリアに貢献し、選手にとって引退後の長い人生をサポートしたいと、社会で働くために必要なコミュニケーション能力の向上や資格講座にも取り組んでいます。実際に同チームを引退後、スポンサー企業に就職した選手もいて、人材不足に悩む地域の企業にも喜ばれる取り組みとして期待されています。

★

滋賀県内には残念ながら甲子園で優勝争いするような学校が少なく、これまではプロ球団もなかったため、優秀な子どもたちは高校から県外に出てしまい、卒業後に滋賀に戻っても監督やコーチとして活躍できる場がありませんでした。滋賀ユナイテッドが実績を重ねて成長することで、現役の最後に地元で活躍してもらったり、NPBを引退したベテラン選手を採用することで、若い選手の成長にもつながるのではないかと考えています。

スポーツを通じた国際交流、地域創生を目指して

「人の縁にたいへん恵まれていて、スポンサー探しでも人脈に助けられた。紹介をいただいてお願いに行くと、快く応じてくださる企業が多く、半年で約50社のスポンサーを集めることができた」と言う鈴木氏。「会社立ち上げの際、信用保証協会さんから金融機関さんにつないでいただき、資金が準備できたことは本当にありがたかったし、たくさんの方々の助けと応援があったからこそ、ここまで来ることができた」と創業時を振り返ります。

現在、約140社あるスポンサーの中には県外の企業も含まれていて、金銭的な支援だけでなく、自動車の販売会社に営業車を提供してもらったり、選手のためにお米を寄付していただいたり、地元のFM局に番組枠を設けてもらう代わりに試合会場で宣伝活動をしてもらうなど、さまざまな企業にさまざまな形の支援をお願いして、できる限り運営費を抑える努力を行っています。

またこの夏は、中国の少年野球チームに所属する選手と父兄を滋賀に招いて、野球による交流を図ることになっていて、滋賀県立大学の学生も通訳としてサポートすることになっています。ジュニアチームと試合をしたり、日本の文化に親しんでもらうほか、中国では野球の道具が手に入りにくいという事情を考慮して、県内のスポーツ店で購入してもらえるよう計画しています。

★

スポーツを通じた国際交流が定着していくと、さまざまなスポーツのキャンプ地としても滋賀が注目されるようになり、地域創生のきっかけにもなるのではないかと、鈴木氏は今後の展開に期待を寄せています。

Message

県民に愛され、地域に貢献する企業として人々に感動と勇気を、子どもたちに夢を与えたい

野球とサッカーチームの同時設立について前代未聞の挑戦とも言われましたが、誰も通ったことのない道を歩んで行くことに迷いはないし、挑戦する姿を見ていただきたいと思っています。

スポーツ選手として成功することだけを目指すのではなく、スポーツを通じた人間形成を目標に掲げて、人を大切に、人々に感動と勇気を与え、子どもたちに夢を与え、そして滋賀を元気にする、そんな企業として成長することが私たちの願いです。

当面の目標はもっと知名度を上げることで、今後は例えばベースボールパークのような施設を開設して、家族みんなでワイワイ試合を楽しめるような場を提供したいと考えています。そして、より多くの方々に心から応援していただけるよう、県民に愛されるチームを目指して頑張りたいと思っています。

★印写真　撮影：城裕一郎写真事務所

企業データ

本　社／草津市草津1丁目20-19-2F
設　立／平成27年12月
従業員／7名
事業内容／スポーツ事業、青少年育成、地域社会貢献活動
ホームページ／
http://www.shiga-united.com

企業ポリシー

●責任と誠意と笑顔を使命とし、顧客第一に徹する。

●「人」を大切にし、常に人に喜んでもらうことを考える。

●三方良しの精神で、地域社会と滋賀の発展に奉仕する。